

住民が原発計画を断念させた場所が、日本には34ヶ所もあった。



仕事を守りたい

原発事故が起きなくても
温排水が流されたら
漁ができなくなる



地域を守りたい

原発の推進派と反対派で
仲が良かった地域が歪められ
祭りすらできなくなってしまう



そして何より
家族を守りたい



自然を守りたい



故郷を守りたい

子供や孫がいつでも
帰ることができる故郷を
原発で汚されたくない



一時の金なんかいない
自然豊かな町を
残したかっただけ

長編ドキュメンタリー映画

■監督:かさこ ■製作・脚本:矢間秀次郎
■撮影:中井正義 ■録音:田辺信道 ■水中撮影:山口敬志
■音楽協力:SHOCHIKU RECORDS『魂の歌』より
(作曲:岩代太郎 演奏:東京都交響楽団)

シロウオ

～原発立地を断念させた町～

映画「シロウオ」上映会・祝島から清水敏保さんを迎えて

2015年3月22日(日) 第1回 10:30～12:15 (10:00 受付) 講演 12:30～30分間
第2回 14:00～15:45 (13:30 受付) 講演 16:00～30分間

岡山シティミュージアム 4F(講義室) 岡山市北区駅元町 15-1 JR岡山駅西口より徒歩2分 全日空ホテルと同じビルの4F

入場料:前売り 1,000円 当日 1,300円 前売券取扱い:ぎんざやプレイガイド又は advticket927@yahoo.co.jp

(高校生以下・障害者 500円 / 中学生以下無料)

主催 映画「シロウオ」上映会実行委員会 TEL 090-3631-6628 (事務局長・橋本) FAX .086-254-0427

故郷を、自然を、仕事を、そして家族を守りたい—— 原発反対運動を成功させた人々を追う

東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故により、広く国民に原発の危険性が知れわたることとなったが、今から30年以上も前に、「いつか必ず原発事故が起きる。危険な原発は建てさせない」と住民が反対運動を行い、原発計画を断念させた場所が全国に34カ所あった。中でも紀伊水道をはさんで、双方の住民たちが協力し合い、原発計画を断念させたのが、徳島県阿南市椿町の「蒲生田原発」と、和歌山県日高町の「日高原発電」だ。

南海トラフ三連動超巨大地震が心配される今、全国各地の原発再稼働が争点となっているが、なぜ彼らはチェルノブイリ原発事故や福島原発事故が起きる前に、危険性に気づき、計画を追い出すことができたのか。当時、反対運動に関わった住民などにインタビュー。住民らの証言を中心に約100分の映像にまとめた。



●徳島県阿南市椿町:蒲生田原発

- 1976年 四国電力が計画発表
- 1979年 吉原薫市長が建設中止決定

●和歌山県日高町:日高原発電

- 1967年 日高町議会が阿尾地区に誘致決議
- 1975年 関西電力が小浦地区に立地打診
- 1990年 原発反対の日高町町長・志賀政憲氏当選により実質上計画中止



映画にも登場。京都大学原子炉実験所助教、小出裕章氏メッセージ

「当時の住民は賛成派も反対派も、みんな原発が危険であることはわかっていた。ただ原発がなくても生きていける自信を持っている人々が反対できた」



本作品が映画初監督デビュー。かさこ監督メッセージ

東日本大震災発生後、被災地を何度も取材しました。中でも福島原発 20 キロ圏内に入り、人が住めない「死の町」と化した無人の町を見た時の恐ろしさは今でも忘れられません。家に帰れなくなった人の話を聞いた時、これは福島だけの問題ではなく、そう遠くない未来に誰もが起こりうる話だとの思いを強くしました。今、3・11の記憶は急速に風化しています。今後の日本社会のあり方を考える上で、過去に原発立地を断念させた人々に話を聞きたいと考え、本映画を製作しました。

講演者 清水敏保さん



上関原発計画が持ち上がって以来30数年にわたり、原発予定地の対岸である祝島に住み続ける。「上関原発を建てさせない祝島島民の会」代表であり上関町議会議員。5年前より、原発の埋立準備工事を妨害したと、中国電力より4名が訴えられ、このスラップ訴訟で、約4,800万円もの損害賠償の請求をされている1人です。ブログ kaminoseki-genpatsu-slapp.jimdo.com をご覧ください。



3.11への祈り
おかやま

2015年3月8日(日)10:00から石山公園にて、3.11トーク&ライブ、祈りのウォーク、13:30から岡山バプテスト教会で追悼会を開催します。ご参加ください。

◎呼びかけ人 赤井藤子・市場恵子・梅田環・大塚愛・大槻順一郎・小川孝雄・尾崎ツトム・北川文夫・坂本恵美・磨田俊司
西村晴美・橋本省吾・広南和子・福島敏子・政久とよ子・宮本龍門・柳井昌子・弓田盛樹・横田都志子